

決算特別委員会資料

議案 第80号

令和7年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

- | | | |
|---------------|--------------|---------|
| 1 | 歳入決算額 | ・・・P2 |
| 2 | 歳出決算額 | ・・・P2 |
| <div>参考</div> | 消防局主要事務事業の概要 | ・・・P3～4 |

消防局

令和7年度北九州市一般会計決算について(消防局所管分)

(1)歳入決算額

(単位:円)

款	項	目	節	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額
17	1	11	1 消防使用料	799,000	0	0	799,000	247,222	247,222	0
17	2	9	1 消防手数料	42,563,000	0	0	42,563,000	27,926,000	27,926,000	0
18	1	3	1 消防費負担金(国)	7,518,000	0	0	7,518,000	0	0	0
18	2	11	1 消防費補助金(国)	2,365,000	0	0	2,365,000	0	0	0
18	3	7	1 消防費委託金(国)	3,000,000	0	0	3,000,000	3,294,940	3,294,940	0
19	2	8	1 消防費補助金(県)	135,809,000	0	0	135,809,000	135,660,000	135,660,000	0
20	1	1	1 土地貸付収入	2,018,000	0	0	2,018,000	1,127,310	1,127,310	0
20	1	1	2 建物貸付収入	5,752,000	0	0	5,752,000	3,784,320	3,784,320	0
22	1	5	1 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	3,000,000	0	0	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0
22	2	15	1 SDGs未来基金繰入金	23,367,000	0	0	23,367,000	0	0	0
24	6	4	30 消防費雑入	112,378,000	0	0	112,378,000	128,558,232	128,558,232	0
25	1	10	1 消防債	937,100,000	0	0	937,100,000	902,800,000	902,800,000	0
合計				1,275,669,000	0	0	1,275,669,000	1,206,398,024	1,206,398,024	0

(2)歳出決算額

(単位:円)

12款 1項 消 防 費	予 算 現 額					支出済額	翌年度 繰越額	不用額
	当 初 予算額	補 正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予備費支出 及び 流用増減	計			
1目 消防職員費	9,861,182,000	444,700,000	0	0	10,305,882,000	9,945,532,302	0	360,349,698
2目 常備消防費	902,622,000	0	0	0	902,622,000	868,333,935	0	34,288,065
3目 非常備消防費	401,113,000	0	0	0	401,113,000	387,349,189	0	13,763,811
4目 消防施設費	1,383,487,000	0	0	0	1,383,487,000	1,368,554,715	0	14,932,285
合 計	12,548,404,000	444,700,000	0	0	12,993,104,000	12,569,770,141	0	423,333,859

(3) 消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	決算額
あらゆる災害に対応するための消防体制の整備	① 消防体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防活動に必要な資器材（空気呼吸器、空気ボンベ、消防ホース、救助用ロープ、ウェットスーツ等）の計画的な更新や消火栓・防火水槽の維持管理を行った。 また、大規模な災害を想定した訓練を行い災害現場での対応能力向上を図った。 ◆消火剤購入数：63缶（1,260L）	41,897
	② 消防職員の人材育成・能力向上 【2目 常備消防費】	消防職員に必要な資格を取得させるとともに、専門知識や技術の向上を図るなど、計画的な人材育成を行った。	55,059
	③ 消防施設の整備 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進めた。 また、第三者所有方式による省エネ機器の導入などにより、消防施設におけるカーボンニュートラルを推進した。 ◆八幡西消防署上津役分署 他7施設	89,636
	④ 消防車両等の整備 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	消防活動に必要となる特殊災害対応車や、高発泡照明車等を更新した。 ◆常備車両更新台数 4台 ◆非常備車両更新台数 7台	664,637
救急体制の強化	⑤ 救急体制の充実強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	「患者情報管理システム」を運用し、患者情報を早期に医療機関と共有することで救急搬送の迅速化を図った。 新たに救急車2台を増台し、加えて救急車4台を更新した。 また、救急救命士7人を養成した。	339,416
	⑥ 救急活動の質の向上 【2目 常備消防費】	より多くの命を救うため、医療機関との緊密な連携により、医師による専門性の高い指導・助言を受けることで、救急活動の質の向上を行った。	7,103
	⑦ 市民による応急手当の普及啓発活動の推進 【2目 常備消防費】	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進した。 ◆各救命講習実績：809回・29,361名	580

(3) 消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	決算額
火災予防対策の強化	⑧ 火災予防対策の強化 【2目 常備消防費】	市民の防火意識を醸成するため、地域ぐるみの防火訓練や映像を用いた啓発活動を行うなど、効果的な火災予防の普及啓発を推進した。	8,850
	⑨ 防火査察の強化 【2目 常備消防費】 【4目 消防施設費】	火災時に人命危険が高い建物や、火災が発生した場合に延焼が拡大しやすく、大規模な火災につながる危険性が高い地域内の木造飲食店に対する防火指導及び違反是正の強化を行った。	15,833
地域における災害対応力の向上	⑩ 消防団の充実強化 【3目 非常備消防費】 【4目 消防施設費】	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、防火服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図った。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を行った。 ◆八幡東消防団第1分団本部建替え（平野二丁目） ◆八幡東消防団第7分団本部建替え（昭和二丁目）	309,745
	⑪ いきいき安心訪問の推進 【3目 非常備消防費】	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行った。 ◆令和7年度の訪問数 1,986世帯	5,240
	⑫ 市民防災活動への支援 【2目 常備消防費】	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」への防災リーダー研修の実施や、地域で開催される防災訓練の支援を行った。 ◆防災リーダー研修会実績：69回・4,113名	6,499
	⑬ あんしん通報システムの運用 【2目 常備消防費】	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組んだ。 ◆令和7年度末 稼働数：2,276台	259 ※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) <u>41,799</u>